

# 中学生の翼

## 小野中2年2組 会田 成道

僕は、アメリカ合衆国へ行って感じたことは、消防署、救急隊の人たちはボランティアで働いているということです。ボランティアで働いているということです。ボランティアとは、給料をもらっていないということなんです。

あと、アメリカの天気は、日差しが強いことです。日差しが強いことは事前に教えられました。日差しが強いことが、実際にやって本当に日本とは大違いでした。

最後に、アメリカに行くと楽しかったことは、アメリカの人と交流をして、コミュニケーションが取れたことです。もしも今度アメリカに行ったら、お世話になったホストファミリーのサカワさんに恩返しをしたいと思っています。



会田成道君

## 小野中2年2組 吉田 彩雅

私はこの中学生の翼に参加し、アメリカに行ったことでたくさ



(中央) 吉田彩雅さん

んのことを体験し、学んでくることが出来ました。一番大きかったのが食文化の違いで、アメリカの食事は、油っこいものが多く、量が多いということです。最初はあまり食べられませんでした。けれど、時間がたつにつれ食べられるようになりました。それと、もう一つわかったことは、向こうの人はおしゃべりが大好きということです。私のホストファミリーも、よく話しかけてくれました。私が学んだことはこれだけではなく、団体行動の大切さ、自分から何かをする積極性などたくさんあります。私はこの中学生の翼で学んだことを忘れずに今後の生活にいかしていきたいと思っています。

## 小野中2年3組 近野未沙紀

私は、今回の中学生の翼に向



近野未沙紀さん

けて、3つの目的を立てました。アメリカに着いたその日には、正直、その目的を達成できるか自信がありませんでした。しかし、今では、その全てを達成できた。自信を持って言うことができます。

日本とアメリカの文化の違いは、日常生活の中でたくさん発見できました。家のつくり、おふる、食事前のお祈りなど、全てが初めて見る光景でした。何よりも身になったのは、英語です。私は、積極的にホストファミリーの人と会話ができました。このことは、自分の英語力の向上と自信につながりました。このように、今回の研修で私は多くの事を学びました。

## 小野中2年4組 根本 美佳

根本 美佳

私がアメリカへ行って学んだことは、主張の違いを学びました。日本の人の多くが自分の意見を少ししか主張しません。一方、アメリカの人は、ほしい物はほしい、いらぬ物はいらぬと自分の意見を積極的に主張していました。例えば、買い物時に自分の行きたい店があったら他の人がいても、「ここ行きたい」とすぐに主張します。日本だったら、他の人がいるので「まだ今度」と思い、主張しませんが、私は我慢も必要だと思いますが、積極的に自分の意見を主張する



(左) 根本美佳さん

のも大切だと思います。なので、私は我慢と主張の両方できる立派な日本人になりたいです。そしてきちんとした英語も話せるようになりたいです。

## 小野中2年2組 松本 嶺太

松本 嶺太

今回の研修によって、アメリカという国は、私にとっても身近に感じられるものになりました。アメリカへ行く前は、不安と好奇心で変な気持ちでした。しかし、アメリカに着いて、不安という感じはうすれてしまいました。むしろ、好奇心が強まりました。アメリカでふれるものはすべて新鮮に感じられましたし、今回の研修でアメリカという国が少し分かったような気がしました。



松本嶺太君

けたものは「食」です。アメリカでは、メキシコ料理などのタコス、日本料理のそうめん、すし、のりなどの料理は、とても人気がありました。この研修によって、本当にアメリカという国が身近に感じられました。

## 小野中2年1組 野崎 真弘

野崎 真弘

僕は、この中学生の翼で感じた事は、アメリカの生活習慣と日本の生活習慣の違いにびっくりしました。なぜびっくりしたかというと、アメリカでは一日の三食のうちで、ご飯を食べることはありませんでした。日本では、ご飯を食べるのが普通なのにアメリカでは食べないので、そういった所から日本とアメリカの違いを感じました。

僕はこの体験でおどろいたことは、アメリカの生活環境です。ショッピングセンターで売っている物も日本の倍ぐらいの大きさを売っていました。学校などのグラウンドはすべて芝でした。僕はそのことにびっくりしました。



野崎真弘君